

第 5 号議案

博物館再登録について

博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 11 条の規定による博物館の再登録について、次のとおり提案します。

令和 8 年 2 月 13 日

広島県教育委員会教育長 篠 田 智 志

1 提案の要旨

安芸高田市歴史民俗博物館、仙石庭園庭石ミュージアム及び東広島市立美術館を広島県教育委員会の博物館登録原簿に再登録する。

2 提案の理由

令和 5 年 4 月 1 日に博物館法の一部を改正する法律（令和 4 年法律第 24 号）が施行され、博物館登録制度（登録要件及び審査手続等）の見直しが行われた。

これに伴い、法改正前に既に登録されている博物館が引き続き登録を受けようとする場合は、令和 10 年 3 月 31 日までに、法改正後の登録要件の審査を受ける必要があるため。

3 再登録事項

設置者の名称及び住所	博物館の名称及び所在地	登録番号
安芸高田市 安芸高田市吉田町吉田 791 番地	安芸高田市歴史民俗博物館 安芸高田市吉田町吉田 278 番地 1	第 26 号
公益財団法人仙石庭園 東広島市高屋町高屋堀 1589 番地 7	仙石庭園庭石ミュージアム 東広島市高屋町高屋堀 1589 番地 7	第 32 号
東広島市 東広島市西条栄町 8 番 29 号	東広島市立美術館 東広島市西条栄町 9 番 1 号	第 33 号

4 再登録理由

申請のあった 3 館について、書面審査及び実地調査を行った結果、博物館法及び博物館登録等に関する要綱（令和 5 年 4 月 1 日施行）に定める要件を備えていると認められるため。

5 再登録年月日

令和 8 年 月 日（議決の日）

6 根拠規定

博物館法

(登録)

第 11 条 博物館を設置しようとする者は、当該博物館について、当該博物館の所在する都道府県の教育委員会（略）の登録を受けるものとする。

(登録の審査)

第 13 条 都道府県の教育委員会は、登録の申請に係る博物館が次の各号のいずれにも該当すると認めるときは、当該博物館の登録をしなければならない。

一 当該申請に係る博物館の設置者が次のイ又はロに掲げる法人のいずれかに該当すること。

イ 地方公共団体又は地方独立行政法人

ロ 次に掲げる要件のいずれにも該当する法人（略）

(1) - (3) (略)

二 - 六 (略)

2 (略)

3 都道府県の教育委員会は、登録を行うときは、あらかじめ、博物館に関し学識経験を有する者の意見を聴かなければならない。

(登録の実施等)

第 14 条 登録は、都道府県の教育委員会が、次に掲げる事項を博物館登録原簿に記載してするものとする。

一 第 12 条第 1 項第 1 号及び第 2 号に掲げる事項

二 登録の年月日

2 都道府県の教育委員会は、登録をしたときは、遅滞なく、その旨を当該登録の申請をした者に通知するとともに、前項各号に掲げる事項をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

附 則（令和 4 年法律第 24 号）

(経過措置)

第 2 条 (略)

2・3 (略)

4 この法律の施行の際現に旧博物館法第 10 条の登録を受けている又は施行日以後に前項の規定によりなお従前の例によることとされる同条の登録を受ける博物館は、施行日から起算して 5 年を経過する日までの間は、新博物館法第 11 条の登録を受けたものとみなす。(略)

5・6 (略)

博物館登録審査表（安芸高田市歴史民俗博物館）

登録の審査 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）	審査の方法	適否
<p>第 13 条 都道府県の教育委員会は、登録の申請に係る博物館が次の各号のいずれにも該当すると認めるときは、当該博物館の登録をしなければならない。</p> <p>一 当該申請に係る博物館の設置者が次のイ又はロに掲げる法人のいずれかに該当すること。</p> <p>イ 地方公共団体又は地方独立行政法人</p> <p>ロ 次に掲げる要件のいずれにも該当する法人（略）</p> <p>(1) 博物館を運営するために必要な経済的基礎を有すること。</p> <p>(2) 当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が博物館を運営するために必要な知識又は経験を有すること。</p> <p>(3) 当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が社会的信望を有すること。</p>	<p>書面審査を実施するとともに、学識経験者（広島県立歴史博物館学芸課長（学芸員資格有））及び生涯学習課職員が実地調査を行い、現地で確認</p> <p>安芸高田市歴史民俗博物館設置及び管理条例</p>	適
<p>二 当該申請に係る博物館の設置者が、第 19 条第 1 項の規定により登録を取り消され、その取消しの日から 2 年を経過しない者でないこと。</p>	<p>これまで博物館の登録の取消しは行われていない。</p>	適
<p>三 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制が、第 3 条第 1 項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準（広島県教育委員会においては博物館登録等に関する要綱（令和 5 年 4 月 1 日施行）の 1 に定める基準をいう。以下同じ。）に適合するものであること。</p> <p><u>博物館登録等に関する要綱</u></p> <p>1 (1) 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制</p>		
<p>ア 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究の実施に関する基本的運営方針を策定し当該方針を公表するとともに、当該方針に基づき、相当の公益性をもって博物館を運営する体制を整備していること。</p>	<p>基本的運営方針を示した書類及び当該方針の公表方法が分かる書類</p>	<p>・収蔵資料 歴史資料（約 3,000）、考古資料（約 300）、民俗資料（約 9,500）、美術資料（約 400）の合計約 13,200 点である。</p>
<p>イ アの基本的運営方針に基づく博物館資料の収集及び管理の方針を定め、当該方針に基づき、博物館資料を体系的に収集する体制を整備していること。</p>	<p>博物館資料の収集及び管理の方針を示した書類</p>	
<p>ウ イに規定する博物館資料の収集及び管理の方針に基づき、所蔵する博物館資料の目録を作成し、当該博物館資料を適切に管理し、及び活用する体制を整備していること。</p>	<p>博物館資料の目録 蔵書の目録</p>	<p>・展示内容 常設展及び企画展（令和 6 年度計 3 回、令和 7 年度計 2 回）を開催している。</p>
<p>エ 一般公衆に対して、所蔵する博物館資料の展示を行い、又は特定の主題に基づき、所蔵する博物館資料若しくは借用した博物館資料による展示を行う体制を整備していること。</p>	<p>展示、調査研究、学習機会の提供等に関する申請年度の事業計画及び前年度の実績を示す書類</p>	<p>・調査研究 共同研究等の実績がある。</p>
<p>オ 単独で又は他の博物館若しくは法第 3 条第 1 項第 12 号に掲げる学術若しくは文化に関する諸施設と共同で、博物館資料に関する調査研究を行い、その成果を活用する体制を整備していること。</p> <p>カ 博物館資料を用いた学習機会の提供、利用者に対する博物館資料の説明その他の教育活動を行う体制を整備していること。</p>	<p>博物館の事業に関する申請年度の収支計画及び前年度の実績を示す書類</p>	<p>・学習機会 学校受入、現地見学会及び講座等を開催している。</p>
<p>キ 法第 7 条に規定する研修その他の研修に職員が参加する機会が確保されていること。</p>	<p>職員への研修に関する申請年度の実施計画及び前年度の実績</p>	<p>・職員研修 他団体主催研修等への職員参加の実績がある。</p>

<p>登録の審査</p> <p>博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）</p>	<p>審査の方法</p> <p>書面審査を実施するとともに、学識経験者（広島県立歴史博物館学芸課長（学芸員資格有））及び生涯学習課職員が実地調査を行い、現地で確認</p>	<p>適否</p>
<p>四 学芸員その他の職員の配置が、第 3 条第 1 項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。</p> <p><u>博物館登録等に関する要綱</u></p> <p>1 (2) 学芸員その他の職員の配置</p>		
<p>ア (1) アの基本的運営方針に基づいて博物館の管理運営を行うことができる館長が置かれていること。</p>	<p>館長の氏名、職務内容及び経歴を示す書類</p>	<p>・組織体制 館長 1 人 副館長 1 人 学芸員 1 人 事務職員等 3 人</p>
<p>イ 学芸員が置かれていること。</p>	<p>学芸員の氏名、資格、職務内容及び経歴を示す書類</p>	
<p>ウ (1) アの基本的運営方針に基づく博物館の運営に必要な職員が置かれていること。</p>	<p>その他の職員の名簿及び職務分担を示す書類 組織図等の博物館運営を行う組織の態様を示す書類</p>	
<p>五 施設及び設備が、第 3 条第 1 項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。</p> <p><u>博物館登録等に関する要綱</u></p> <p>1 (3) 施設及び設備</p>		
<p>ア 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を安定的かつ継続的に行うことができる施設及び設備が整備されていること。</p>	<p>施設の概要及びパンフレット等 博物館の事業に用いる建物及び土地の図面及び面積を示した書類 博物館の事業に用いる建物及び土地の所有者が分かる書類 博物館の事業に用いる建物及び土地の所有者が設置者でない場合は、設置者が当該建物及び土地を使用することができる権利を有していることが分かる書類</p>	<p>・延床面積 1,547 ㎡ ・防災設備等 火災報知設備等 職員訓練実施等 ・バリアフリー対応 スロープ 車椅子対応駐車場 車椅子対応トイレ等</p>
<p>イ 防災及び防犯のために必要な施設及び設備を有していること。</p>	<p>防災及び防犯の観点から対応している事項を示す書類</p>	
<p>ウ 博物館の規模及び展示内容に応じ、利用者の安全及び利便性の確保のために必要な配慮がなされていること。 エ 高齢者、障害者、妊娠中の者、日本語を理解できない者その他博物館の利用に困難を有する者が博物館を円滑に利用するための配慮がなされていること。</p>	<p>多様な利用者に対する配慮の観点から対応している事項を示す書類</p>	
<p>六 1 年を通じて 150 日以上開館すること。</p>	<p>令和 5 年度開館日数 308 日 令和 6 年度開館日数 308 日</p>	<p>適</p>

博物館登録審査表（仙石庭園庭石ミュージアム）

登録の審査 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）	審査の方法	適否
<p>第 13 条 都道府県の教育委員会は、登録の申請に係る博物館が次の各号のいずれにも該当すると認めるときは、当該博物館の登録をしなければならない。</p> <p>一 当該申請に係る博物館の設置者が次のイ又はロに掲げる法人のいずれかに該当すること。</p> <p>イ 地方公共団体又は地方独立行政法人</p> <p>ロ 次に掲げる要件のいずれにも該当する法人（略）</p> <p>(1) 博物館を運営するために必要な経済的基礎を有すること。</p> <p>(2) 当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が博物館を運営するために必要な知識又は経験を有すること。</p> <p>(3) 当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が社会的信望を有すること。</p>	<p>書面審査を実施するとともに、学識経験者（広島県立歴史博物館学芸課長（学芸員資格有））及び生涯学習課職員が実地調査を行い、現地で確認</p> <p>設置者の法人登記事項証明書</p> <p>設置者が民事再生法による再生手続又は会社更生法による更生手続開始の決定を受けていないことを宣誓する書類</p> <p>博物館の運営を担当する役員の経歴を示す書類</p> <p>設置者が、自ら反社会的勢力に該当せず、及び反社会的勢力との関係がないこと等を宣誓する書類</p> <p>設置者が税金を滞納していないことを宣誓する書類</p>	適
<p>二 当該申請に係る博物館の設置者が、第 19 条第 1 項の規定により登録を取り消され、その取消しの日から 2 年を経過しない者でないこと。</p>	<p>これまで博物館の登録の取消しは行われていない。</p>	適
<p>三 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制が、第 3 条第 1 項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準（広島県教育委員会においては博物館登録等に関する要綱（令和 5 年 4 月 1 日施行）の 1 に定める基準をいう。以下同じ。）に適合するものであること。</p> <p><u>博物館登録等に関する要綱</u></p> <p>1 (1) 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制</p>		
<p>ア 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究の実施に関する基本的運営方針を策定し当該方針を公表するとともに、当該方針に基づき、相当の公益性をもって博物館を運営する体制を整備していること。</p>	<p>基本的運営方針を示した書類及び当該方針の公表方法が分かる書類</p>	適
<p>イ アの基本的運営方針に基づく博物館資料の収集及び管理の方針を定め、当該方針に基づき、博物館資料を体系的に収集する体制を整備していること。</p>	<p>博物館資料の収集及び管理の方針を示した書類</p>	
<p>ウ イに規定する博物館資料の収集及び管理の方針に基づき、所蔵する博物館資料の目録を作成し、当該博物館資料を適切に管理し、及び活用する体制を整備していること。</p>	<p>博物館資料の目録 蔵書の目録</p>	
<p>エ 一般公衆に対して、所蔵する博物館資料の展示を行い、又は特定の主題に基づき、所蔵する博物館資料若しくは借用した博物館資料による展示を行う体制を整備していること。</p>	<p>展示、調査研究、学習機会の提供等に関する申請年度の事業計画及び前年度の実績を示す書類</p>	
<p>オ 単独で又は他の博物館若しくは法第 3 条第 1 項第 12 号に掲げる学術若しくは文化に関する諸施設と共同で、博物館資料に関する調査研究を行い、その成果を活用する体制を整備していること。</p>	<p>博物館の事業に関する申請年度の収支計画及び前年度の実績を示す書類</p>	
<p>カ 博物館資料を用いた学習機会の提供、利用者に対する博物館資料の説明その他の教育活動を行う体制を整備していること。</p>		
<p>キ 法第 7 条に規定する研修その他の研修に職員が参加する機会が確保されていること。</p>	<p>職員への研修に関する申請年度の実施計画及び前年度の実績</p>	

<p>登録の審査</p> <p>博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）</p>	<p>審査の方法</p> <p>書面審査を実施するとともに、学識経験者（広島県立歴史博物館学芸課長（学芸員資格有））及び生涯学習課職員が実地調査を行い、現地で確認</p>	<p>適否</p>
<p>四 学芸員その他の職員の配置が、第 3 条第 1 項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。</p> <p><u>博物館登録等に関する要綱</u></p> <p>1 (2) 学芸員その他の職員の配置</p>		
<p>ア (1) アの基本的運営方針に基づいて博物館の管理運営を行うことができる館長が置かれていること。</p>	<p>館長の氏名、職務内容及び経歴を示す書類</p>	<p>・組織体制 館長 1 人 副館長 1 人 学芸員 1 人 事務職員等 4 人</p>
<p>イ 学芸員が置かれていること。</p>	<p>学芸員の氏名、資格、職務内容及び経歴を示す書類</p>	
<p>ウ (1) アの基本的運営方針に基づく博物館の運営に必要な職員が置かれていること。</p>	<p>その他の職員の名簿及び職務分担を示す書類 組織図等の博物館運営を行う組織の態様を示す書類</p>	
<p>五 施設及び設備が、第 3 条第 1 項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。</p> <p><u>博物館登録等に関する要綱</u></p> <p>1 (3) 施設及び設備</p>		
<p>ア 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を安定的かつ継続的に行うことができる施設及び設備が整備されていること。</p>	<p>施設の概要及びパンフレット等 博物館の事業に用いる建物及び土地の図面及び面積を示した書類 博物館の事業に用いる建物及び土地の所有者が分かる書類 博物館の事業に用いる建物及び土地の所有者が設置者でない場合は、設置者が当該建物及び土地を使用することができる権利を有していることが分かる書類</p>	<p>・屋外：土地面積 30,154 m² 屋内：延床面積 252 m² ・防災設備等 消火器等 職員訓練実施等 ・バリアフリー対応 スロープ 車椅子対応駐車場 車椅子対応トイレ等</p>
<p>イ 防災及び防犯のために必要な施設及び設備を有していること。</p>	<p>防災及び防犯の観点から対応している事項を示す書類</p>	
<p>ウ 博物館の規模及び展示内容に応じ、利用者の安全及び利便性の確保のために必要な配慮がなされていること。 エ 高齢者、障害者、妊娠中の者、日本語を理解できない者その他博物館の利用に困難を有する者が博物館を円滑に利用するための配慮がなされていること。</p>	<p>多様な利用者に対する配慮の観点から対応している事項を示す書類</p>	
<p>六 1 年を通じて 150 日以上開館すること。</p>	<p>令和 5 年度開館日数 361 日 令和 6 年度開館日数 361 日</p>	<p>適</p>

博物館登録審査表（東広島市立美術館）

登録の審査 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）	審査の方法	適否
<p>第 13 条 都道府県の教育委員会は、登録の申請に係る博物館が次の各号のいずれにも該当すると認めるときは、当該博物館の登録をしなければならない。</p> <p>一 当該申請に係る博物館の設置者が次のイ又はロに掲げる法人のいずれかに該当すること。</p> <p>イ 地方公共団体又は地方独立行政法人</p> <p>ロ 次に掲げる要件のいずれにも該当する法人（略）</p> <p>(1) 博物館を運営するために必要な経済的基礎を有すること。</p> <p>(2) 当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が博物館を運営するために必要な知識又は経験を有すること。</p> <p>(3) 当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が社会的信望を有すること。</p>	<p>書面審査を実施するとともに、学識経験者（広島県立歴史博物館学芸課長（学芸員資格有））及び生涯学習課職員が実地調査を行い、現地で確認</p> <p>東広島市立美術館の設置及び管理に関する条例</p>	適否
<p>二 当該申請に係る博物館の設置者が、第 19 条第 1 項の規定により登録を取り消され、その取消しの日から 2 年を経過しない者でないこと。</p>	<p>これまで博物館の登録の取消しは行われていない。</p>	適
<p>三 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制が、第 3 条第 1 項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準（広島県教育委員会においては博物館登録等に関する要綱（令和 5 年 4 月 1 日施行）の 1 に定める基準をいう。以下同じ。）に適合するものであること。</p> <p><u>博物館登録等に関する要綱</u></p> <p>1 (1) 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制</p>		
<p>ア 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究の実施に関する基本的運営方針を策定し当該方針を公表するとともに、当該方針に基づき、相当の公益性をもって博物館を運営する体制を整備していること。</p>	<p>基本的運営方針を示した書類及び当該方針の公表方法が分かる書類</p>	<p>・収蔵資料 日本画（約 300）、西洋画（約 3,000）、彫塑（約 50）、西洋陶磁器（約 100）、その他（50）の合計約 3,500 点である。</p>
<p>イ アの基本的運営方針に基づく博物館資料の収集及び管理の方針を定め、当該方針に基づき、博物館資料を体系的に収集する体制を整備していること。</p>	<p>博物館資料の収集及び管理の方針を示した書類</p>	
<p>ウ イに規定する博物館資料の収集及び管理の方針に基づき、所蔵する博物館資料の目録を作成し、当該博物館資料を適切に管理し、及び活用する体制を整備していること。</p>	<p>博物館資料の目録 蔵書の目録</p>	<p>・展示内容 コレクション展及び特別展（令和 6 年度計 9 回、令和 7 年度計 7 回）を開催している。</p>
<p>エ 一般公衆に対して、所蔵する博物館資料の展示を行い、又は特定の主題に基づき、所蔵する博物館資料若しくは借用した博物館資料による展示を行う体制を整備していること。</p>	<p>展示、調査研究、学習機会の提供等に関する申請年度の事業計画及び前年度の実績を示す書類</p>	<p>・調査研究 共同研究等の実績がある。</p>
<p>オ 単独で又は他の博物館若しくは法第 3 条第 1 項第 12 号に掲げる学術若しくは文化に関する諸施設と共同で、博物館資料に関する調査研究を行い、その成果を活用する体制を整備していること。</p> <p>カ 博物館資料を用いた学習機会の提供、利用者に対する博物館資料の説明その他の教育活動を行う体制を整備していること。</p>	<p>博物館の事業に関する申請年度の収支計画及び前年度の実績を示す書類</p>	<p>・学習機会 学校受入、ワークショップ及び講演等を開催している。</p>
<p>キ 法第 7 条に規定する研修その他の研修に職員が参加する機会が確保されていること。</p>	<p>職員への研修に関する申請年度の実施計画及び前年度の実績</p>	<p>・職員研修 職員向け研修を実施している。</p>

<p>登録の審査</p> <p>博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）</p>	<p>審査の方法</p> <p>書面審査を実施するとともに、学識経験者（広島県立歴史博物館学芸課長（学芸員資格有））及び生涯学習課職員が実地調査を行い、現地で確認</p>	<p>適否</p>
<p>四 学芸員その他の職員の配置が、第 3 条第 1 項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。</p> <p><u>博物館登録等に関する要綱</u></p> <p>1 (2) 学芸員その他の職員の配置</p>		
<p>ア (1) アの基本的運営方針に基づいて博物館の管理運営を行うことができる館長が置かれていること。</p>	<p>館長の氏名、職務内容及び経歴を示す書類</p>	<p>・組織体制 館長 1 人 学芸員 3 人 事務職員等 7 人</p>
<p>イ 学芸員が置かれていること。</p>	<p>学芸員の氏名、資格、職務内容及び経歴を示す書類</p>	
<p>ウ (1) アの基本的運営方針に基づく博物館の運営に必要な職員が置かれていること。</p>	<p>その他の職員の名簿及び職務分担を示す書類 組織図等の博物館運営を行う組織の態様を示す書類</p>	
<p>五 施設及び設備が、第 3 条第 1 項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。</p> <p><u>博物館登録等に関する要綱</u></p> <p>1 (3) 施設及び設備</p>		
<p>ア 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を安定的かつ継続的に行うことができる施設及び設備が整備されていること。</p>	<p>施設の概要及びパンフレット等 博物館の事業に用いる建物及び土地の図面及び面積を示した書類 博物館の事業に用いる建物及び土地の所有者が分かる書類 博物館の事業に用いる建物及び土地の所有者が設置者でない場合は、設置者が当該建物及び土地を使用することができる権利を有していることが分かる書類</p>	<p>・延床面積 3,947 m² ・防災設備等 火災報知設備等 職員訓練実施等 ・バリアフリー対応 スロープ 車椅子対応駐車場 車椅子対応トイレ等</p>
<p>イ 防災及び防犯のために必要な施設及び設備を有していること。</p>	<p>防災及び防犯の観点から対応している事項を示す書類</p>	
<p>ウ 博物館の規模及び展示内容に応じ、利用者の安全及び利便性の確保のために必要な配慮がなされていること。 エ 高齢者、障害者、妊娠中の者、日本語を理解できない者その他博物館の利用に困難を有する者が博物館を円滑に利用するための配慮がなされていること。</p>	<p>多様な利用者に対する配慮の観点から対応している事項を示す書類</p>	
<p>六 1 年を通じて 150 日以上開館すること。</p>	<p>令和 5 年度開館日数 308 日 令和 6 年度開館日数 305 日</p>	<p>適</p>

館の概要

名 称	安芸高田市歴史民俗博物館
所 在 地	安芸高田市吉田町吉田278番地1
設 置 者	安芸高田市 (安芸高田市吉田町吉田791番地)
目 的	安芸高田市の文化財を保存し、その活用を図り、文化財に関する市民の知識及び文化的教養の向上に資するため。
沿 革	昭和46年5月 吉田郷土資料館として開館 平成2年3月 吉田町歴史民俗資料館として新築移転開館 平成16年3月 安芸高田市吉田歴史民俗資料館に名称変更 平成17年9月 博物館登録(旧制度) 平成22年4月 安芸高田市歴史民俗博物館に名称変更
施設規模	延床面積:1,547m ²
組織体制	館長 1人 副館長 1人 学芸員 1人 事務職員等 3人
収蔵資料	歴史資料(約3,000)、考古資料(約300)、民俗資料(約9,500)、美術資料(約400) 合計約13,200点
展示内容	常設展及び企画展(令和6年度は計3回、令和7年度は計2回開催)
入館料	一般(15歳以上) 500円
入館者数	10,532人(令和6年度)
開館時間	9:00～17:00
休館日	毎週火曜日(休日の場合を除く。)、休日の翌日(土日を除く。)、年末年始
開館日数	308日(令和6年度)

館の概要

名 称	仙石庭園庭石ミュージアム
所 在 地	東広島市高屋町高屋堀1589番地7
設 置 者	公益財団法人仙石庭園 (東広島市高屋町高屋堀1589番地7)
目 的	仙石庭園を広く一般に公開し、日本の庭石文化に触れることで自然の景観や環境の大切さを学習し、日本古来の庭石文化振興等の発展に寄与するため。
沿 革	平成17年 庭園の一般公開を開始 令和 2年12月 仙石庭園銘石ミュージアムとして博物館登録(旧制度) 令和 5年 5月 仙石庭園庭石ミュージアムに名称変更
施設規模	屋外 土地面積:30,154㎡ 屋内 延床面積: 252㎡
組織体制	館長 1人 副館長 1人 学芸員 1人 事務職員等 4人
収蔵資料	屋外 銘石(736点) 屋内 岩石・鉱物・化石(530点)、地質図類(掛け軸11点)、ろう石類(6点)、 高橋秀夫氏コレクション(98点) 合計645点
展示内容	常設展及びコレクション展(令和7年度は計3回開催)
入 館 料	一般 1,000円(800円) 中学生・小学生 300円(150円) 年間通用券 3,000円 (()内は団体料金)
入館者数	9,477人(令和6年度)
開館時間	9:00~17:00
休 館 日	12月29日~1月1日
開館日数	361日(令和6年度)

館の概要

名 称	東広島市立美術館
所 在 地	東広島市西条栄町9番1号
設 置 者	東広島市 (東広島市西条栄町8番29号)
目 的	市民の美術品を鑑賞する機会の拡大及び市民の美術に関する創造的な活動の支援を図ることにより文化の発展に寄与するため。
沿 革	昭和53年 4月 大久保博氏が美術館を建設し、東広島市に寄贈 昭和54年 6月 東広島市立美術館開館 令和 2年11月 新築移転開館 令和 5年 1月 博物館登録(旧制度)
施設規模	延床面積:3,947㎡
組織体制	館長 1人 学芸員 3人 事務職員等 7人
収蔵資料	日本画(約300)、西洋画(約3,000)、彫塑(約50)、西洋陶磁器(約100)、その他(50) 合計約3,500点
展示内容	コレクション展及び特別展(令和6年度は計9回、令和7年度は計7回開催)
入 館 料	一般 300円(240円) 大学生 200円(160円) (()内は団体料金)
入館者数	40,348人(令和6年度)
開館時間	9:00～17:00(入館は16:30まで)
休 館 日	毎週月曜日(休日の場合はその翌日)、年末年始
開館日数	305日(令和6年度)

登録博物館一覧

令和8年2月13日現在

	設置者	名称	所在地	備考	
1	宗教法人厳島神社	厳島神社宝物館	廿日市市宮島町1番地1	昭和27年9月20日登録	
2	宗教法人耕三寺	耕三寺博物館	尾道市瀬戸田町瀬戸田553番地の2	昭和27年9月20日登録	
3	福山市	福山市立福山城博物館	福山市丸の内一丁目8	昭和42年9月28日登録	
4	広島県	広島県立美術館	広島市中区上幟町2番22号	昭和43年4月1日登録	令和6年3月22日再登録
5	尾道市	尾道市立美術館	尾道市西土堂町17番19号	昭和55年2月28日登録	
6	宗教法人平等大慧会	海の見える杜美術館	廿日市市大野亀ヶ岡10700番地	昭和58年3月17日登録	令和7年3月14日再登録
7	呉市	呉市立美術館	呉市幸町4番9号入船山公園内	昭和58年7月22日登録	令和7年3月14日再登録
8	広島県	広島県立歴史博物館	福山市西町二丁目4番1号	平成3年2月8日登録	令和6年3月22日再登録
9	(公財)しづや美術館	しづや美術館	福山市本町8番27号	平成6年2月17日登録	
10	(公財)能宗文化財団	福山自動車時計博物館	福山市北吉津町三丁目1番22号	平成6年5月13日登録	
11	広島県	広島県立歴史民俗資料館	三次市小田幸町122番地	平成7年2月24日登録	令和6年3月22日再登録
12	(公財)ウッドワン美術館	公益財団法人ウッドワン美術館	廿日市市吉和4278番地	平成9年9月12日登録	令和7年3月14日再登録
13	尾道市	平山郁夫美術館	尾道市瀬戸田町沢200番地2	平成10年10月15日登録	
14	福山市	ふくやま美術館	福山市西町二丁目4番3号	平成11年3月12日登録	
15	福山市	福山市しんいち歴史民俗博物館	福山市新市町新市916番地	平成11年5月14日登録	
16	庄原市	庄原市立比和自然科学博物館	庄原市比和町比和1119番地1	平成17年1月14日登録	
17	安芸高田市	安芸高田市歴史民俗博物館	安芸高田市吉田町吉田278番地1	平成17年9月9日登録	令和8年2月 日再登録
18	庄原市	庄原市帝釈峡博物展示施設時悠館	庄原市東城町帝釈未渡1909番地	平成17年9月9日登録	
19	広島県	頼山陽史跡資料館（広島県立歴史博物館分館）	広島市中区袋町5番15号	平成31年1月31日登録	令和6年3月22日再登録
20	(公財)仙石庭園	仙石庭園庭石ミュージアム	東広島市高屋町高屋堀1589番地7	令和2年12月23日登録	令和8年2月 日再登録
21	東広島市	東広島市立美術館	東広島市西条栄町9番1号	令和5年1月13日登録	令和8年2月 日再登録
22	(一財)下瀬美術館	下瀬美術館	広島県大竹市晴海2丁目10番50号	令和5年7月14日登録	（法改正後の新登録）
23	熊野町	筆の里工房	安芸郡熊野町中溝五丁目17番1号	令和5年10月13日登録	（法改正後の新登録 平成27年1月30日～指定施設）

指定施設一覧

令和8年2月13日現在

	設置者	名称	所在地	備考	
1	廿日市市	宮島水族館	廿日市市宮島町10番3	昭和35年3月28日指定	
2	福山市	福山市立動物園	福山市芦田町大字福田276番地の1	平成23年12月5日指定	
3	(公財)みやうち芸術文化振興財団	アートギャラリーミヤウチ	廿日市市宮内4347番地2	令和2年7月10日指定	令和7年3月14日確認

博物館法施行規則の一部を改正する省令（令和5年文部科学省令第2号）附則第2条第4項に規定する、博物館法施行規則第24条第1項の要件を備えている旨の確認

（参考）国又は広島市が所管する登録博物館及び指定施設一覧

令和8年2月13日現在

	登録博物館の設置者	登録博物館の名称	登録博物館の所在地	備考	
1	(公財)ひろしま美術館	ひろしま美術館	広島市中区基町3番2号	昭和53年10月4日登録	令和8年1月9日再登録
2	広島市	広島市こども文化科学館	広島市中区基町5番83号	昭和55年5月13日登録	令和7年1月28日再登録
3	広島市	広島市郷土資料館	広島市南区宇品御幸二丁目6番20号	昭和61年2月18日登録	令和7年1月28日再登録
4	広島市	広島市交通科学館	広島市安佐南区長楽寺二丁目12番2号	平成7年2月24日登録	令和7年1月28日再登録
5	(公財)泉美術館	泉美術館	広島市西区商工センター二丁目3番1号	平成9年10月23日登録	令和8年1月9日再登録
6	広島市	広島市江波山気象館	広島市中区江波南一丁目40番1号	平成19年6月8日登録	令和8年1月9日再登録

	指定施設の設置者	指定施設の名称	指定施設の所在地	備考	
1	広島市	広島市安佐動物公園	広島市安佐北区安佐町動物園	昭和47年4月10日指定	
2	国立大学法人広島大学	広島大学総合博物館	東広島市鏡山1丁目1番1号	平成30年2月14日指定	
3	広島市	広島城	広島市中区基町21番1号	令和3年11月24日指定	
4	広島市	広島市現代美術館	広島市南区比治山公園1番1号	令和3年11月24日指定	
5	公立大学法人広島市立大学	広島市立大学芸術資料館	広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号	令和4年11月11日指定	

令和5年4月 博物館法改正のポイント

【旧制度】 ~R5.3.31	【新制度】 R5.4.1 ~
【登録博物館】 対象：地方公共団体 一般社団法人もしくは一般財団法人 宗教法人等政令で定める者 審査：外形的な基準に基づき審査 法律上の目的を達成するために必要な 博物館資料があること 学芸員その他の職員を有すること 建物及び土地があること 一年を通じて150日以上開館すること	【新たな登録博物館】 対象：設置者による要件を撤廃 （国・独法以外の設置者はすべて対象に） 審査：活動内容の質等について実質的に審査 ・設置者の経済的基礎・社会的信望 ・資料の収集・保管・展示、調査研究の体制 ・学芸員等の職員の配置 ・事業を行うにふさわしい施設や設備 ・一年を通じて150日以上開館すること （は、省令を参酌し各都道府県が基準を設定）
【博物館相当施設】 審査：外形的な基準に基づき審査 対象：設置者による限定なし	【指定施設】 審査：登録博物館の審査基準を踏まえ規定 対象：設置者による限定なし

改正博物館法の見直し内容

	【登録博物館】	【指定施設】
	都道府県教委又は指定都市教委の登録審査を受けた館	国・都道府県教委・指定都市教委が、登録館に類する事業を行う施設として指定した館
登録要件 (設置主体)	地方公共団体 一般（公益）社団・財団法人、宗教法人 等 + 地方独立行政法人や会社等の民間の法人に対象を拡大 設置主体の多様化への対応	制限なし 引き続き制限なし
登録要件 (その他)	館長・学芸員の必置 年間150日以上の開館 等 + 博物館としての活動も考慮 博物館運営の改善・向上への寄与	学芸員相当職員の必置 年間100日以上の開館 等 登録要件の改正踏まえ検討 （省令・教育委員会規程での規定）
メリット	固定資産税や事業所税等の非課税措置等の税制上の優遇が適用 特別交付税の申請が可能 登録美術品制度に基づく美術品の公開が可能 美術品補償制度の利用が可能 希少野生動物種の個体の譲渡し等が可能 等	（措置無し） （措置無し） 登録美術品制度に基づく美術品の公開が可能 美術品補償制度の利用が可能 希少野生動物種の個体の譲渡し等が可能 等

安芸高田市の歴史

安芸高田市域は、古代には安芸国内の高田郡と高宮郡の2郡に分かれていましたが、中世以降には高田郡に統合されました。

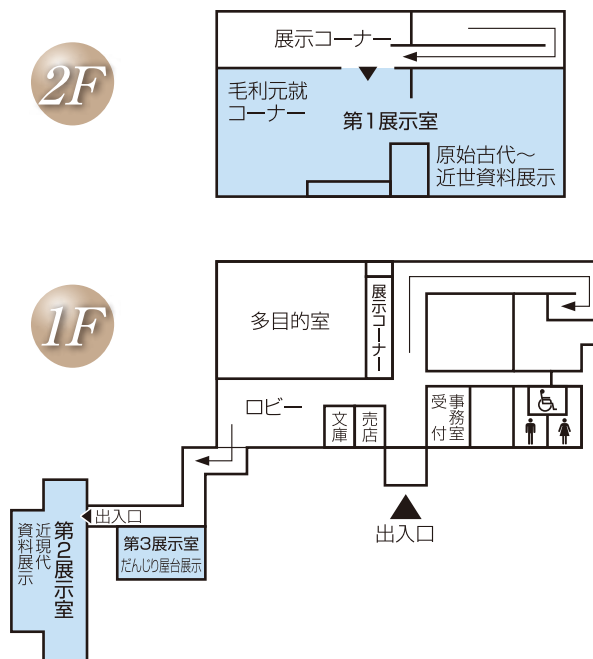
中世には郡内の荘園・国衙領の地頭として、東国の武士が各地に入部しました。戦国時代には毛利氏や宍戸氏、高橋氏などの国人領主が割拠しましたが、その中で毛利氏は郡山城を本拠に台頭し、元就の時には中国地方一円に勢力を拡大する戦国大名となりました。

毛利氏の周防・長門移封後、江戸時代の高田郡には最大61ヶ村があり、広島と出雲・石見を結ぶ街道には各地に宿場町や市町がつくられました。

明治時代以降は幾度も統廃合が行われ、昭和48年からは現在の市域である高田郡6町となりました。

そして、更なる市町村合併の機運が高まり、平成16(2004)年3月1日に6町の合併により、広島県で14番目の市である「安芸高田市」が誕生しました。

館内のご案内



博物館の活動

安芸高田市歴史民俗博物館は、安芸高田市に関係する歴史・民俗資料の収集や保存を行っています。また、これらの調査と研究を継続的に進めその成果を展示等に生かしています。

さらに、市の歴史や文化財に関する理解を深めるための講座やイベント等も実施しています。

ご利用案内

- ◆開館時間◆ 午前9時～午後5時
- ◆休館日◆ 火曜日(祝休日の場合は開館)
祝休日の翌日(土日の場合は開館)
12月29日～1月3日
- ◆入館料◆ 大人 300円(200円)
小・中学生 150円(100円)
(20名以上の団体) < 特別展は別途料金 >
- ◆駐車場◆ 普通車 15台 バス 3台
(無料)
- ◆アクセス◆ バス 広島バスセンターから吉田出張所行き
(約1時間40分)安芸高田市役所前下車徒歩5分
J R 芸備線向原駅からタクシー15分
自動車 中国道高田インターから15分



【表紙のロゴマークについて】

令和5年(2023)に、毛利元就が家督を相続し、郡山城に入城して500年を迎えることを記念して作成されました。



当館ホームページ



文化財動画紹介
「おうちミュージアム」

安芸高田市歴史民俗博物館

検索

安芸高田市歴史民俗博物館

〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田278番地の1
TEL/FAX 0826-42-0070

安芸高田市 歴史民俗博物館



常設展示

第1展示室

安芸高田市の原始から近世までの歴史を振り返り、特徴的な資料を展示しています。

特に中世は戦国期を核とし、古文書、社寺への奉納品や出土遺物などを中心に展示しています。また、市内に所在する城跡などの史跡をとおり、毛利氏を中心にめぐるしく変化した安芸高田の歴史を紹介しています。



郡山城復元模型



県重文 千間塚古墳出土亀形須恵器
7世紀（個人蔵）



明官地廃寺跡出土文字瓦
8世紀（広島県教育委員会蔵）



甲立古墳出土家形埴輪 4世紀末

原始
古代

中世



市重文 男山神社獅子頭
元龜2年(1571)



県重文 清神社在銘連子窓断片

県重文 清神社棟札
右：正中2年(1325)
左：永禄11年(1568)



市重文 毛利元就画像
江戸時代（個人蔵）

近代



近世コーナー

近世



川角山神社絵馬 蒸気船図
安政2年(1855)

第3展示室

約350年の伝統をもつ子ども歌舞伎が行われるだんじり屋台を展示しています。



現代

第2展示室

安芸高田市の近現代史について、民俗資料を中心に展示紹介しています。



いろりの間

毛利元就コーナー



毛利元就(1497-1571)が、郡山城を居城として一国人領主から戦国大名へと駆け上がった生涯を紹介しています。

安芸国高田郡図 正徳6年(1716)

東広島市在住の奇天才医師（山名 征三 1938年生）が2000年頃より私財を投じて全国から庭石を集め、20年間の間、唯我独尊の世界をこまごま日本庭園史に新しい1ページを加える唯一無二の銘石日本庭園を創生した。2020年文化庁より我国初の庭石の登録博物館認証。2022年公益財団法人文化、我国の文化遺産として未来永劫の命脈を保つ礎を作った。

仙石庭園はまさに現代の極楽浄土だ。石が中心の庭園と聞いていたが、半端でない。各地の有名庭園の主石を上回る品格の高い銘石、奇石が広い庭園に配置されている。それらを備石として、また組石として美しく展開しているのがこの庭園だ。組石は特にいい。最奥の滝と絶句。感動と迫力と美の空間だ。国が認めた我が国のオアシウムで、No.1の庭石ミュージアムというかもっとだ！樹木もいい。新しい庭にはほは樹が多い。松、楓、中では芭蕉も10数本の巨大なウメバダナ。なんでも四国の足音碑狩りの山取りだという。100年200年先にはどんな姿となっているだろう。足元の多形ネサツキ、深紅のドウダンツツジ、園内に広がるモミジもすごい。季節の移ろいを感じる場だ。

この庭園は日本庭園としては新しいことにチャレンジしている。小石一つ動かさない公立公園と異なり千年先まで進化させるべく財政的基盤整備も行っている。庭園周辺に展開するアウトドア文化との融合。富士の麓に展開する農業、畜産など一次産業で千年先まで支える発想。城主の頭の中を覗いてみたい気がする。

★★★★★



庭石 3,000個以上の1万tを超える個性豊かな日本固有のカラフルな庭石で構成
World Best Rock Garden



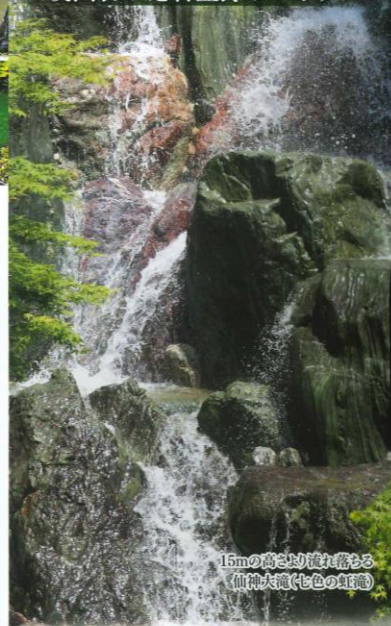
公益財団法人 仙石庭園 登録ミュージアム
造園者 山名 征三 (医師・造園家)

〒739-2111 広島県東広島市高屋町高屋堀1589-7
TEL&FAX:082-434-3360
●<https://senseki.org/> Mail●info@senseki.org

URL●<https://senseki.org/> Mail●info@senseki.org

仙石庭園

我国初の庭石登録ミュージアム



15mの高さより流れ落ちる
仙神大滝(生色の虹滝)

★2023年夏〜秋 オープン予定ー

★ワットカナルート2面

（面間駐車場より1分。お帰りは別荘）

★オーストラリアの村のオーストラリアと平地をカヤックで遊べる

★鏡花水月公園

料金表は、ホームページに記載

●和室(個室)有
10~15名の集まりなどの会食にもご利用頂けます
●庭園に入らずにご利用頂ける専用通路があります

営業時間 11:30~14:30 (お食事ラストオーダー)
※お飲み物は時間外でも可

お食事処「石庭」

未就学児以下	年間通園券 ※1回目の入園から1年間有効 3,000円
--------	-----------------------------

团体 (20人以上)	一般(高校生以上) 小・中学生以下	800円 200円
---------------	----------------------	--------------

一般 (离校重以上)	1,000円
小・中学生以下	300円
未就学児以下	無料

※1/16~3/15 手入れ期間中(入園可)

仙石庭園(南園・北園) 開園日時 年中無休 9:00~17:00

(圖 11-10) 圖 11-17

Recommendation is ★★★★★.

garden. Come to this garden to get the spiritual power, think it's very important choice for the inheritance of this garden. Here are barbecue and camp sites around the garden. This garden is also challenging for something new. I think it's magnificent inspired from Cape Asagiri.

Many trees and many other places, all the highlight is many trees are also impressive. It's able to see many big trees and a new garden. There are many big trees registered only one museum of the garden stones.

It's not wonder the Japanese government certified as a special space with impression, power and beauty. It's of the water fall in the back of the garden. Here is exactly for the combination stones. I can't explain the impression these stones are beautifully arranged as a single stone.

stones in the famous other gardens are graded here, amazing garden's colorful garden stones rather than the main amazing garden much more than I had imagined. Many have heard that it's a stone based garden, it is an beautiful landscape in a noisy current area. Though I think that Saseki garden is just an impressive and

introduction to SENSEI YAMADA, M.D.,
a strange and aspiring doctor (Seizi Yamada, M.D.,
Ph.D., Japan/Australia) living in Higashi-Hiroshima city
completed the Japanese Rock Garden in 2022, through
the 174 century. He collected the thousands of garden
plants from all over Japan and created the dreamy
garden space by wandering around his own deep world.
The Ministry of Education certified as the only one
registered garden stone museum in Japan. In 2022, this
garden was authorized as a public interest incorporated
foundation.



公益財団法人 仙石庭園 登録ミュージアムマップ

敷地面積 約12,000坪 (40,000m²)

キャンプ場予定地
(庭園南側にも予定地あり)

◎日本列島周辺のプレートと岩石の長い旅路

日本の周辺には4つのプレートがあり、そのうちのフィリピン海プレートと太平洋プレートは他のプレートの下に沈み込んでいる。深海で発生した甲殻類の放散虫からなるチャート、海底火山の爆発によりできる枕状溶岩、南半球由来の赤土が空中に飛散し深海で固結した赤色泥岩などがこれらのプレートに乗り長い年月をかけ日本列島に運ばれてきた。



◎三波川帯の岩石

西南日本を南北に分ける中央構造線の南側に隣接する地帯。太平洋で形成された岩石が地下で熱と圧力により変化してできた片岩が多く産出。その多様な色と特徴的な模様から庭石として重宝されてきた。

神石殿周辺図



◎滝山川石

(入口標石、瀬戸の島々、黄山など)
温井ダムのある溪谷でとれた典型的な広島型花崗岩。花崗岩は、広島県の3分の1以上の面積を占めていて県を代表する岩石です。地中深くで、ゆっくり冷え固まった深成岩です。瀬戸内の海岸の美しい風景、白砂青松の砂浜は花崗岩が風化してできた真砂土です。

◎向原石

(一夜庭、上の段から下る階段など)
広島県では花崗岩に次いで多く分布している流紋岩質の花崗岩です。白亜紀陥没カルデラを埋積した火砕流堆積物で、シリカ分の多い岩石。節理が多く直線的に割れやすい。

◎砂谷石

(神石殿入口、昇龍庭などの組石や緑石)
広島市佐伯区の湯来温泉付近から出た岩石で、海底火山の溶岩に由来します。当園の砂谷石は、割れた面がコバルトブルーに輝く美しい石で、強い磁性を帯びています。庭石として一級品です。

・伊予の青石等

(青石赤石類、紅紫石片岩、珪質片岩等)
三波川変成岩類。白亜紀に地下深部の強い圧力で形成されました。伏龍湖護岸や仙神大滝には、10トンを超える巨大な青石・赤石をふんだんに使っています。当園には、色も形も面白い三波川変成岩類の巨石・奇岩が沢山あります。園を代表する岩石です。

◎四国や大分の紫雲石

(もみじ園内、巨岩奇石通り)
海底火山起源の枕状溶岩。黒っぽい岩石に白い雲がたなびく姿は、高貴で庭石にふさわしく、「紫雲石」と呼んでいます。白い部分は、溶岩の隙間を埋めた方解石が石英です。

・チャート岩

(軍艦石、紅加茂石、北園のチャート等)
深海で大発生を繰り返した放散虫等の殻が堆積してできた珪質の岩石。チャートというガラスと類似の成分の岩石です。四国のあちこちに散在しています。

・藍穴石

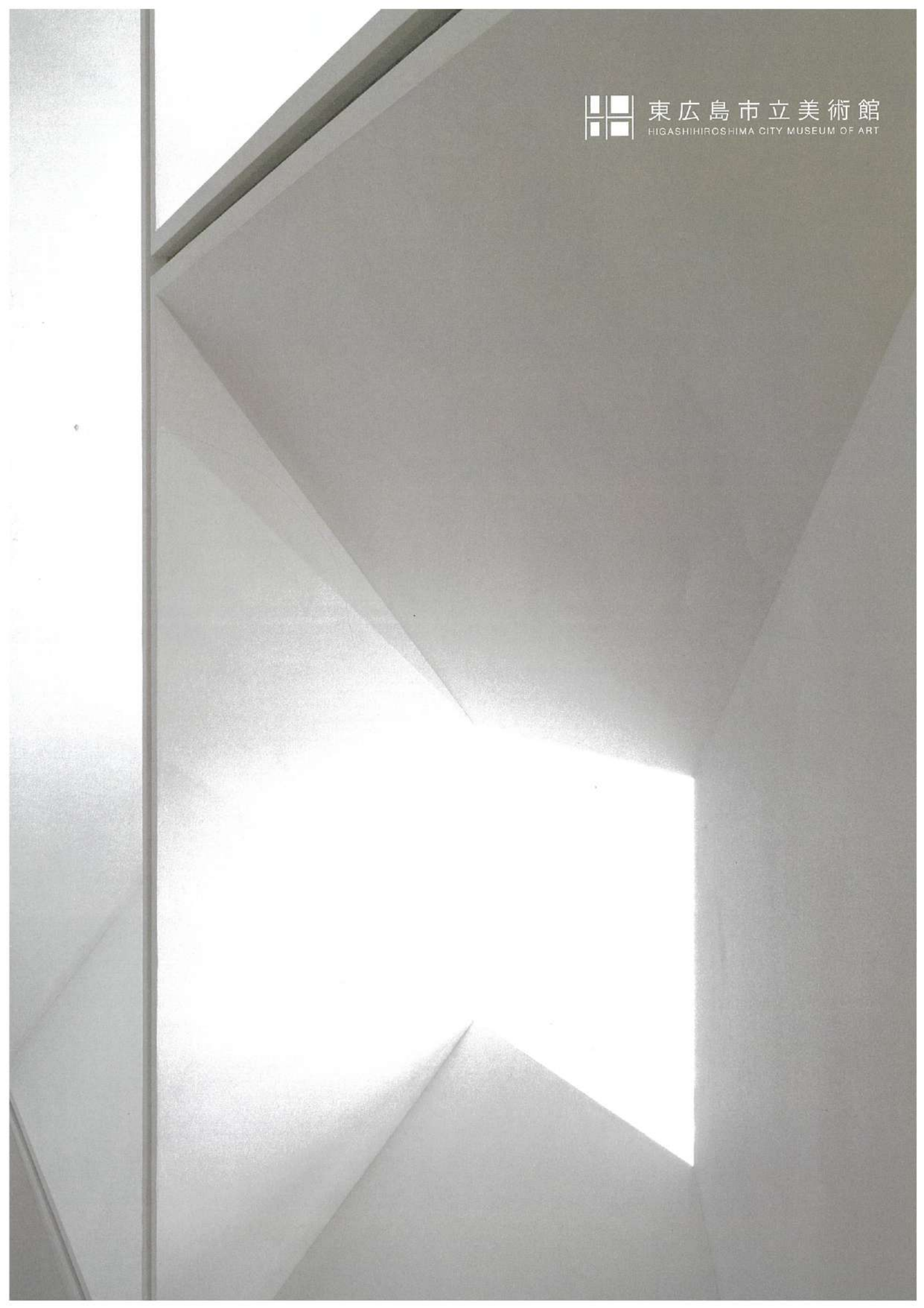
(桜島湾石、もみじ園内、藍穴庭)
鹿児島島の始良カルデラの爆発的噴火により、火砕流となって高速で流れ下った軽石や火山灰です。

・日高赤石

(巨岩奇石通り、北園、奥の院)
海溝で複雑に変形した縞状チャートです。



東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART



CONTENTS

- 2 目次
- 3 はじめに
- 5 運営方針・沿革・利用案内・交通案内
- 6 各階案内
- 7 施設紹介
- 11 コレクション紹介
- 13 建築設備概要
- 14 展示設備概要





東広島市立美術館は、「人間と自然の調和のとれた文化の薫り高い学園都市」をめざす本市の芸術文化活動の拠点として、1979年6月1日、八本松の七つ池池畔に開館しました。

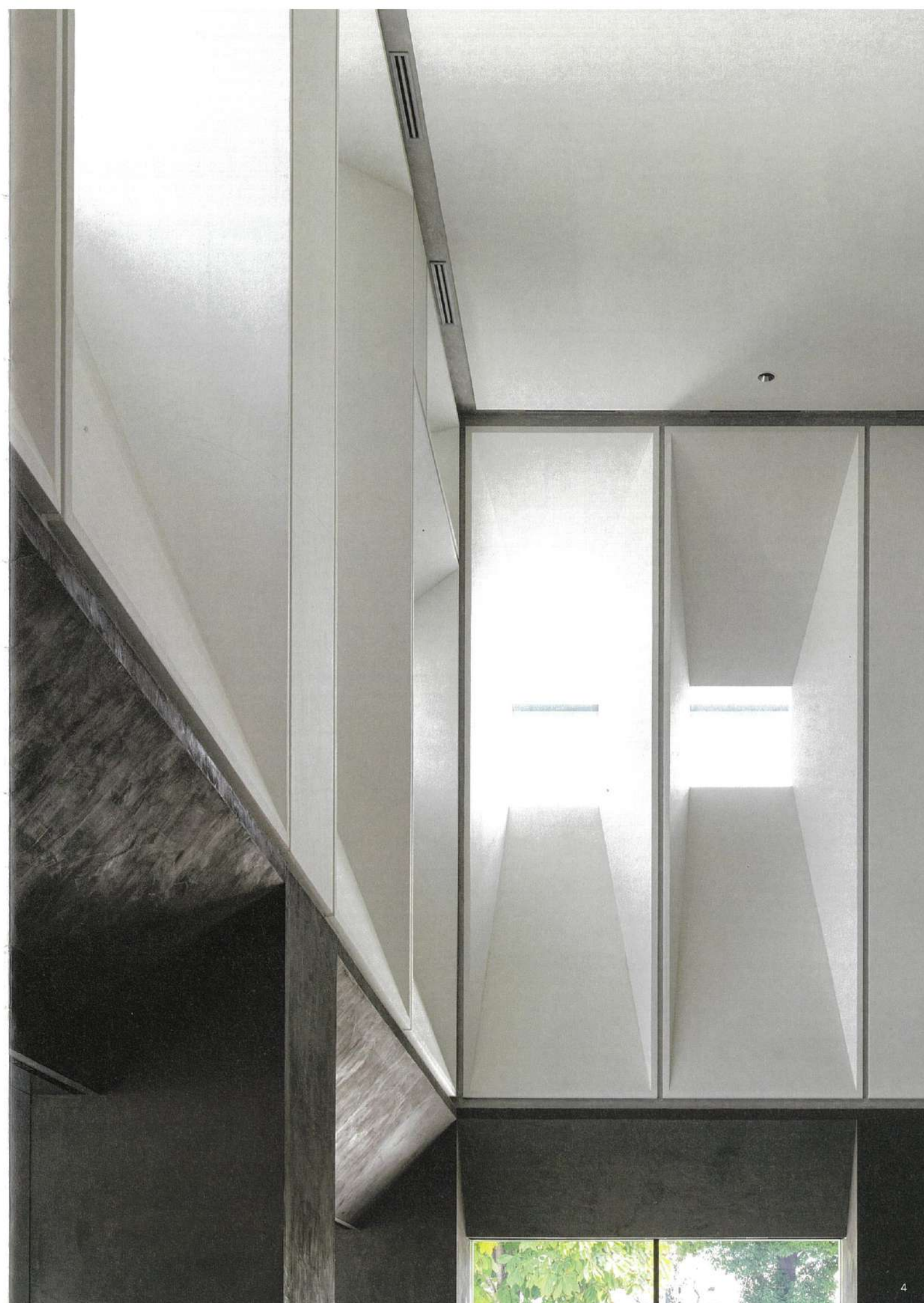
当館は市立美術館としては広島県内で最も古い歴史を持つ美術館です。

この度、新しい美術館が2020年11月、本市中心部であり酒蔵地区や、東広島芸術文化ホール「くらら」が近接する西条の文化ゾーンへ移転オープンしました。

この美術館は、「暮らしとともにある Art、生きる喜びに出会う美術館」をミッションに掲げ、4つの基本理念「鑑賞（優れた文化や芸術にふれる）」「育成（地域の文化や人をはぐくむ）」「創造（個性的な文化を創造し発信する）」「交流（人が集い、交わり、ひろがる）」に基づき美術館活動を行っていきます。

市民の暮らしと芸術文化の接点となり、東広島市独自の文化を醸成し、地域と世界へ繋がるプラットフォームとしての美術館になることを目指します。

The Higashihiroshima City Museum of Art opened on June 1, 1979. It was started as the base for art and culture activities in university town which has culture produced from the harmony of humans and nature. As a municipal art museum, the Higashihiroshima City Museum of Art has the longest history within Hiroshima Prefecture. The new museum building, which has a completely new design, opened in November 2020. The museum's locations have been moved to the Sakagura District in the heart of Higashihiroshima, as well as the Saijo Cultural Zone, which is near Higashi Hiroshima Arts & Culture Hall Kurara. The new museum has four basic principles to promote its mission, which is "Art in Our Daily Lives: A Museum Where You Can Encounter the Joy of Living." The museum conducts activities based on these four principles, which are the following: Appreciation (Experiencing superior culture and art). Development (Nurturing local culture and people). Creation (Creating unique culture and sharing it). Exchange (People gather, form friendships, and expand their social circles). The Higashihiroshima City Museum of Art aims to become a platform for connecting people's lives to art and culture, developing the unique culture of Higashihiroshima City, and connecting the local region with the world.



運営方針

基本理念 Principles

ふれる
鑑賞
Appreciation
優れた文化や芸術にふれる
Experiencing superior culture and art

はぐくむ
育成
Development
地域の文化や人をはぐくむ
Nurturing local culture and people

つくる
創造
Creation
個性豊かな文化を創造し発信する
Creating unique culture and sharing it

つなぐ
交流
Exchange
人が集い、交わり、広がる
People gather, form friendship and expand their social circles

沿革

昭和53年 大久保博氏が美術館を建設し、東広島市に寄贈
昭和54年 東広島市立美術館開館
昭和61年 2階の増設工事が完了し、落成を記念して「大久保博遺作展」を開催
昭和63年 「第1回東広島市美術展」開催
平成11年 「東広島市立美術館20年のあゆみ展」開催
平成22年 東広島市立美術館開館30周年記念展
「コレクションで振り返る東広島市立美術館の30年」開催
平成28年 「東広島市美術館建設基本構想・基本計画」を策定
設計者に「香山・大旗（仮称）東広島市立美術館設計共同体」を選出
平成30年 本体工事着工
令和元年 竣工
令和2年 開館

利用案内

■開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
■休館日 月曜日（祝休日の場合はその直後の平日） 年末年始
■観覧料 一般300円（240円）大学生200円（160円）
※（ ）内は20名以上の団体 ※高校生以下は無料
※特別展観覧料は展覧会ごとに設定しますので、お問い合わせください。

☐ 後期高齢者医療被保険者証・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は、無料で入館いただけますので、受付で各手帳等をご提示下さい。また、介護者につきましては、観覧料が無料になる場合がございますので、受付でご確認下さい。

Opening Times and Admission

■ Opening Hours 9:00 a.m. – 5:00 p.m. (Entrance until 4:30 p.m.)
■ Closed on Mondays (If Monday falls on a national holiday or other off day, the museum will be closed the following day.)
Year-end and New Year periods.
■ Admission General – 300yen (240yen) University students – 200yen (160yen)
*Prices in parentheses are for groups of more than 20.
*High school students or younger get free admission.
*Special exhibitions each have their own set admission fees.
Please inquire before entering.

☐ Admission is free for those who have been issued Elderly Medical Insurance Certificates, Physical Disability Certificates, Medical Treatment and Education Handbook, or Mental Disability Certificates. Please present your certificate or handbook at reception. Caregivers may also be able to receive free admission. Please confirm at reception to see if you are eligible.

基本方針 Missions

優れた美術を鑑賞出来る美術館
To be a place where people enjoy excellent art

世界をつなぎ、まちをつくる美術館
To connect with the world and work for the future of the city

創造し参加体験する美術館
To engage people with art and hands-on experiences

連携・交流する美術館
To encourage the gathering and interaction of people

History

1978 : Mr. Hiroshi Okubo built the art museum and donated it to Higashihiroshima City
1979 : It was opened as a city museum
1986 : To commemorate the completion of the second floor construction, “Exhibition of Posthumous Works of Hiroshi Okubo” was held.
1988 : “1st Higashihiroshima City Art Exhibition” was held.
1999 : “20th Anniversary Exhibition” was held.
2010 : “30th Anniversary Exhibition to Reflect on the Museum History” was held
2016 : Basic Concept and Action Plan of Higashihiroshima City Museum were drawn up
Koyama・Oki (provisional name) Higashihiroshima City Art Museum Design Entity was nominated as a designer.
2018 : The construction started.
2019 : The construction was completed.
2020 : The museum was opened.

交通案内

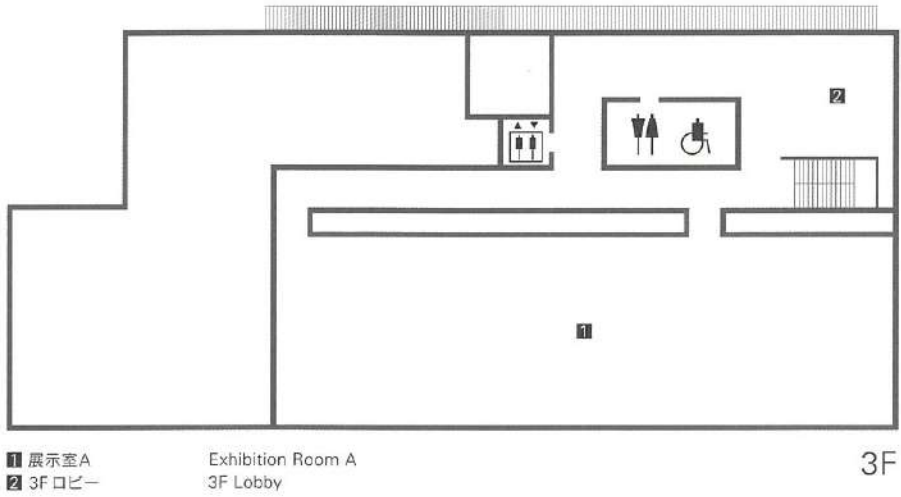
■電車 JR 山陽本線
西条駅南口から約400m 徒歩10分
JR 山陽新幹線 東広島駅からバス
（西条駅行き）中央公園前 下車すぐ
■バス 西条市街地循環バス「のんバス」
中央公園前 下車すぐ
■車 山陽自動車道
「西条インターチェンジ」約7分
※美術館に駐車場はございません。
近隣の駐車場をご利用ください。

Access

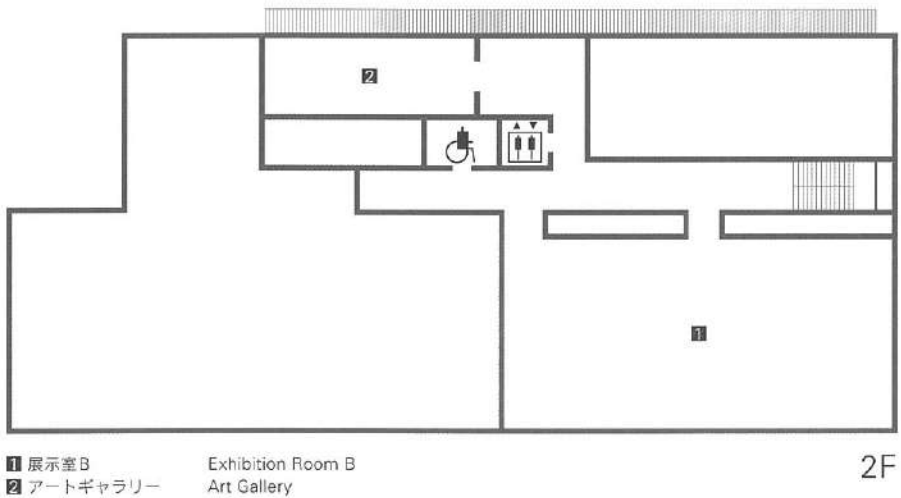
■ Train JR Saijo Station – around 400 meters (a 10 minute walk)
JR Higashihiroshima Station (Sanyo Shinkansen) – Take the bus headed to Saijo Station and get off at the *Chuo Koen-mae* stop. The museum is close to the stop.
■ Bus Take the Saijo city area circulation bus (called *Non Bus*) to Chuo Koen-mae. The museum is close to the stop.
■ Car About 7 minutes from the Saijo IC on the Sanyo Expressway.
*There is no parking lot in the museum. If you are visiting the museum by car, please use a parking lot in the neighborhood.



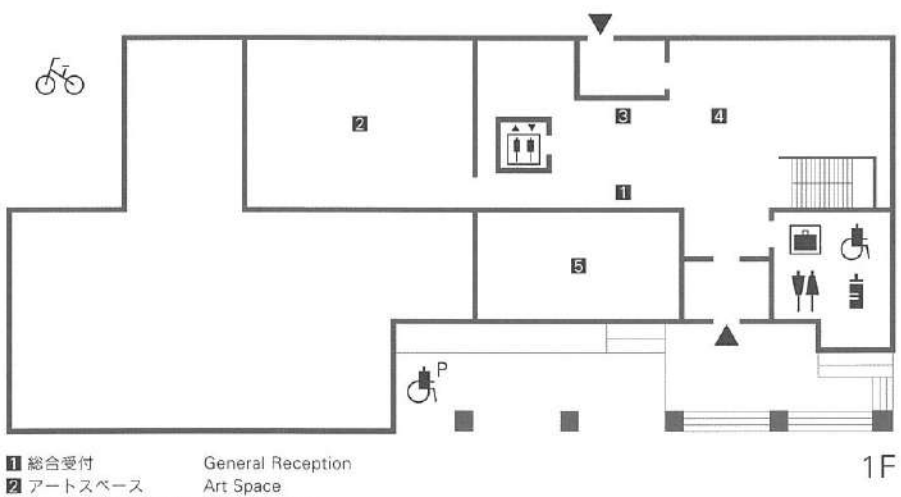
各階案内



1 展示室A Exhibition Room A
2 3F ロビー 3F Lobby



1 展示室B Exhibition Room B
2 アートギャラリー Art Gallery



1 総合受付 General Reception
2 アートスペース Art Space
3 ミュージアムショップ Museum Shop
4 1F ロビー 1F Lobby
5 事務室 Office





1階ロビー・総合受付・ミュージアムショップ
1階ロビーには、総合受付・ミュージアムショップを設置予定です。
総合受付では観覧券の販売を行います。
ショップでは展覧会図録、ポストカードといった館オリジナルグッズ等の販売を行います。

1F Lobby・Central Reception・Museum Shop
On the 1st floor lobby, a central reception and a museum shop are planned to be installed. Admission tickets are purchased at the central reception.
At the museum shop, original items such as exhibition catalogues and postcards are on sale.

【旧美術館扉・欄間】
市内黒瀬町出身の故大久保博氏が旧美術館を建設・寄附した際、東京都美術館旧館で使われていた扉及び欄間を移設しました。新美術館では南口の風除室に設置しています。

[Door and Ranma Transom Window from the Old Museum]
When the late Hiroshi Okubo, a native of Kurose-cho in Higashihiroshima City, constructed and donated a building to the old museum when it opened, he brought over and installed a door and ranma transom window which were used at the original building of the Tokyo Metropolitan Art Museum. These are now installed in the south windbreak room in the new museum building.



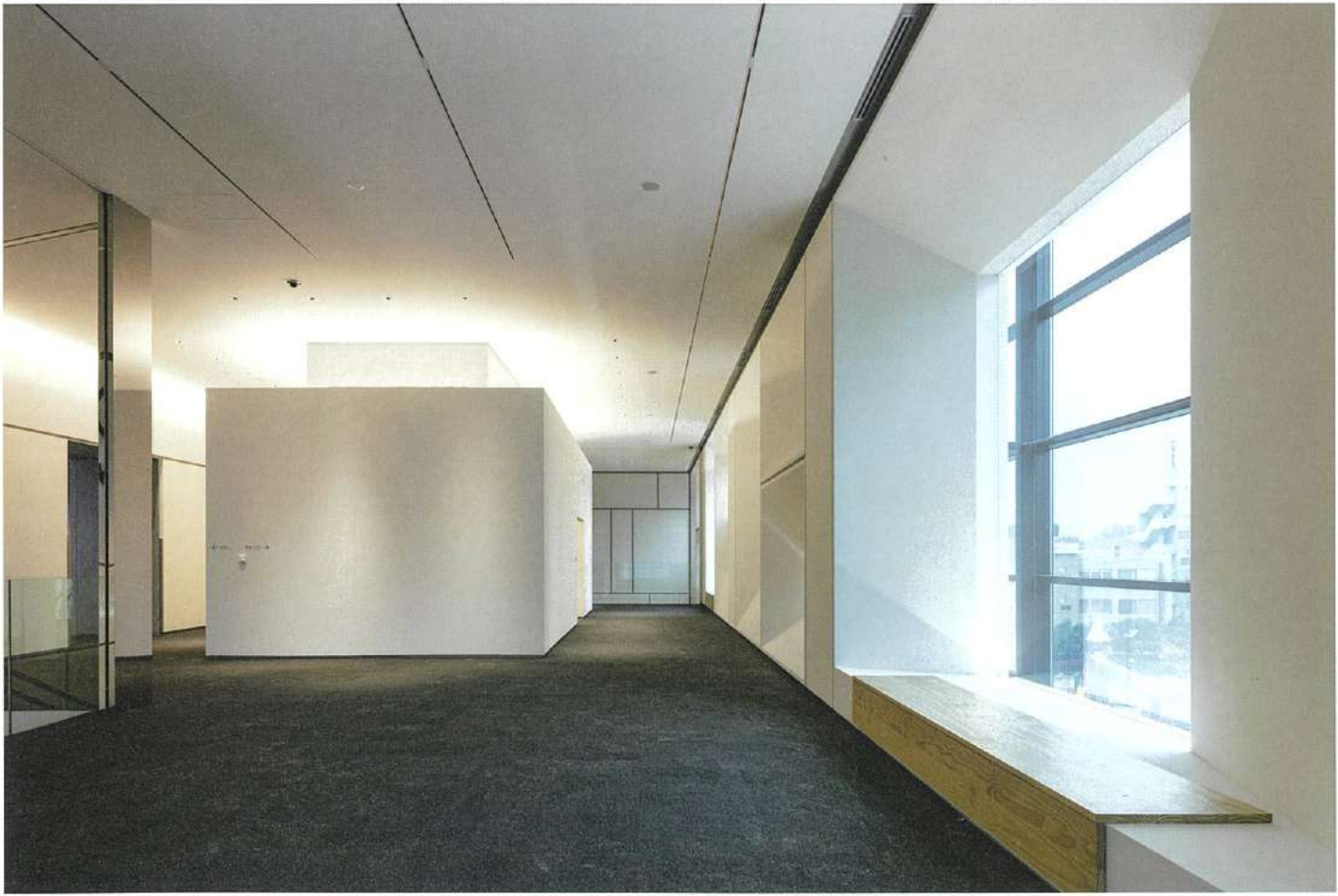
2Fロビー
2F Lobby



ロビー階段
Lobby Stairs

3階ロビー
公園に面した窓側には木のベンチが設置されており、窓から西条の街並みを一望できます。

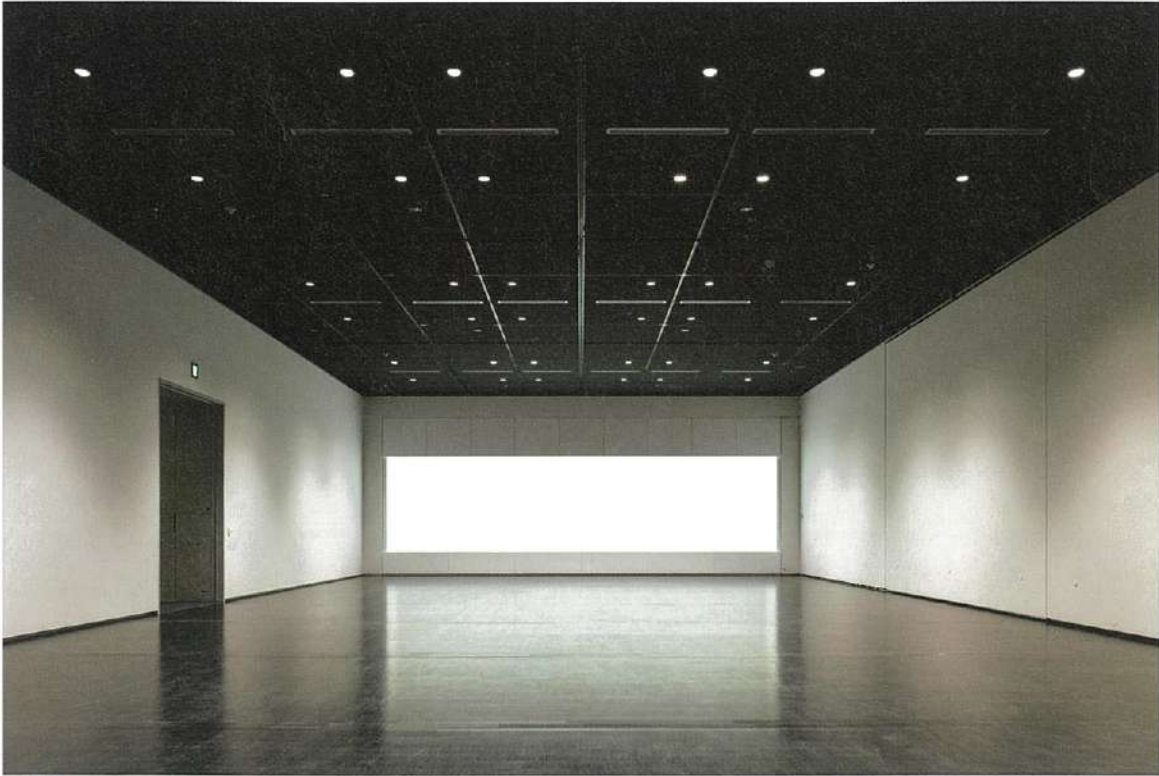
3F Lobby
Some wooden benches are equipped along the windows facing the park. Please have a seat to enjoy the view of the townscape of Saijo.





展示室 A
自主企画展や全国規模の巡回展など、さまざまなテーマの特別展を開催します。

Exhibition Room A
Various special exhibitions, such as ones which are planned by our museum and display artworks traveling nationwide, are held.



展示室 B
特別展のほか、コレクション展を中心に開催します。

Exhibition Room B
Besides special exhibitions, some themed collections are displayed.



アートギャラリー
市民の皆さまの芸術活動の発表の場としてご利用いただけるギャラリーです。

Art Gallery
Citizens are free to use the gallery for art activities, such as their own exhibition space.



アートスペース
展覧会に関連したイベントや創作体験ができる場としてご利用いただけるスペースです。
Art Space
Please make use of the space for events related to exhibitions and hands-on activities.



一時保管庫
Temporary Storage



収蔵庫
Storage



搬入口
Entrance for loading



収蔵庫
Storage

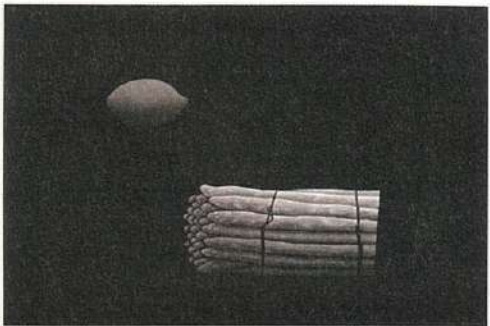
当館では「近現代版画」「現代陶芸」「郷土ゆかり」を中心とした収集活動を行っています。明治期以降の近現代版画コレクションは所蔵品の約7割を占めます。とりわけ日本の版画は、戦後の国際的な展覧会で受賞を重ね、非常に高い評価を受けてきました。当館では、版画の多様な表現を映し出しながら、体系的な収集を目指しています。

一方、東広島市は質の高い陶土が産出されることから中国地方を中心とする優れた現代陶芸作品を収集してきました。このほか、郷土が育んだ作家の作品を収集・活用することによって、市民が郷土ゆかりの美術と触れ合う機会を創出することは、地域に根ざした美術館が果たすべき大きな役割といえるでしょう。

Our ongoing artwork additions focus on contemporary block prints, contemporary ceramics and artworks related to the local community. Contemporary block prints produced since the Meiji Era (1868–1912) account for 70% of all the collection. Japanese block prints have won awards at various international competitions after the end of WWII and are highly valued. We try to make a systematic collection, searching for a wider range of artistic expressions.

Higashihiroshima is rich in high quality ceramic clay. The museum also features a collection of excellent pieces of pottery of the Chugoku Region. Through our collection of local potters' works, citizens can feel close to the local culture. This is surely an important role of the art museum, which is rooted deeply in the community.

近現代版画



1 ジョアン・ミロ
《LA MARCHANDE DE COULEURS》1981
©Succession Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 C2298

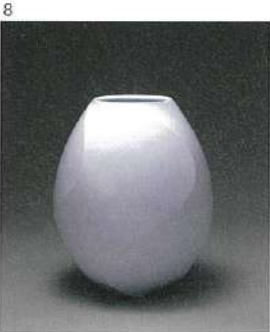
2 山本鼎《ブルターニュの入江》1918

3 浜口陽三《アスパラガス》1957

4 永瀬義郎《抱擁》1915

5 橋口五葉《化粧の女》1918

現代陶芸



6 荒木高子《砂の聖書》1997

7 今井政之《象嵌彩窯変洋蘭花壺》1981

8 前田昭博《白瓷撚面取壺》1999

9 伊勢崎淳《瓶》1997

郷土ゆかり



10 難波平人《遺囑》1999

11 木村芳郎《碧釉三稜壺》1992

12 小林敬生《囀はまた昇る一緑の星・2012-》2012

建築設備概要

■ 建築設備概要

建築物名称	東広島市立美術館
所 在 地	東広島市西条栄町9番1号
敷 地 面 積	1,805㎡
建 築 面 積	1,385.86㎡
延 床 面 積	3,946.67㎡
階 数	地上3階
最 高 高 さ	21.372m
構 造 種 別	鉄筋コンクリート造
建 築 主	東広島市
設 計	香山・大熊（仮称）東広島市立美術館設計共同体
施 工	建 築：松井建設株式会社 機械設備：ダイダン・三共冷熱特定建設工事共同企業体 電気設備：大和・国土技建特定建設工事共同企業体

■ 建築仕上

外 壁	上層部：アルミキャストパネル（t=8） 低層部：レンガ積み（t=65）（中空積み工法） （一部アルミカットパネル）
建 具	開口部：アルミ製建具・アルミ製カーテンウォール フッ素樹脂焼付塗装 出入口：スチール製建具 フッ素樹脂焼付塗装（一部レンガタイル貼り） 出入口（自動ドア）：ステンレス製建具 搬入口：鋼製シャッター フッ素樹脂焼付塗装
内 部	1Fロビー 床：御影石（ブラウンアンティーク）（t=20） 壁：石膏ボード 左官仕上 天井：石膏ボード 左官仕上 2・3Fロビー 床：タイルカーペット 壁：石膏ボード 左官仕上 天井：石膏ボード エマルジョンペイント（一部左官仕上） 展示室/ アートギャラリー 床：フローリング 壁：石膏ボード クロスベンキ 天井：石膏ボード エマルジョンペイント 展示室 床：フローリング 壁：石膏ボード クロスベンキ 天井：石膏ボード エマルジョンペイント 収蔵庫/一時保管庫 床：ブナフローリング（t=15） 壁：無機質系調湿度板（t=13） 天井：調湿ロックウール吸音板（t=12）

■ 機械設備概要

空調換気設備	熱 源	空冷ヒートポンプモジュールチラー	50HPx5台
	機 器	空気調和器（ユニット型）	4系統
		空気調和器（天吊型）	9系統
		外調機	2系統
		換気送風機	3系統
		空冷ヒートポンプパッケージ	12系統
		ファンコイル	2台
		全熱交換機	7系統
		床暖房設備	1系統
	換 気	給気送風機	6系統
		排気送風機	15系統
		エアフローウィンドウ送風機	6台
		排塵送風機	1系統
		ハロン排出用送風機	5系統

給排水衛生設備

給 水	増圧直結給水ポンプ	1台
給 湯	電気給湯器	3台
消 火	ハロゲン化物消火設備（展示室・収蔵庫・一時保管庫） 屋内消火栓（易操作性1号消火栓）65φ x 300L/min x 65m x 7.5kW	
給 水	排水ポンプ（自動交互運転）	2台 x 2ヶ所

エレベーター設備

客用エレベーター（1号機 乗用）	制 御 方 式	機械室レスインバーター制御方式
	積 載 荷 重	1,000 kg 15人乗
	定 格 速 度	60 m/min
	戸開閉方式	2枚両引き
	停 止 階	1・2・3階（3力所）
搬出入用エレベーター（2号機 人荷共用 / 非常用エレベーター）	制 御 方 式	インバーター制御方式
	積 載 荷 重	3550 kg 54人乗
	定 格 速 度	60 m/min
	戸開閉方式	3枚片引き
	停 止 階	1・2・3階（3力所）

展示設備概要

■ 電気設備概要

強電設備	電 力 引 込	3相3線6.6kV1回線受電
	受 変 電	屋外キュービクル式受配電盤（屋上）
	変 圧 器 容 量	1,000 kVA（3相800KVA、単相200KVA）
	非 常 用 電 源	発電機 ティーセル発電機200KVA 始動方式 セルモーター始動式 燃 料 A重油 燃料タンク キュービクル式燃料タンク 容 量 1,950 L 非常時40時間以上運転可能
	照 明	LED照明 展示室 / 調光・調色照明システム

弱電設備

電 話	電話交換機（60回線－実装35回線）
放 送	業務用放送アンブ 容量180W 回線数 20回線－実装19回線 チャイム、ラジオチューナー内蔵 CD、USB、SDカード対応 マルチリモートマイク（受付カウンター、警備員室） ローカル放送用スピーカー設置（ロビー、アートのスペース）
テレビ・共聴 インターホン	地上波デジタルBS/CS 業務用インターホン設置 来館者用：南・北エントランス－事務所・警備員室 職員用：職員エントランス－事務所・警備員室
呼 出 表 示	多目的トイレ呼出表示 表示器：事務所、警備員室各5窓
自動火災報知	GR型受信機510アドレス－実装143アドレス
雷 保 護	避雷導線 保護レベルⅡ

■ 情報設備

無線LANサービス設備	東広島 FREE Wi-Fi （ロビー、展示室、アートのスペース）
-------------	--------------------------------------

■ セキュリティー設備

防 火	複合受信機GR型集中監視 表示方式 10.4インチカラー液晶パネル 表示回線 209（自火報、防火戸、シャッター、防排煙、屋内消火栓、ハロン消火） 副受信機
防 犯	機械警備システム式 入退出管理システム（非接触カードリーダー） 監視カメラ、防犯センサー

■ 展示環境

照 明	展示室A	調光調色ベースダウンライト 調光 1～100％ 調色 2,700K～6,500K 無線信号制御方式（制御用タブレット） スポット照明用ライティングダクト
	展示室B	調光調色ベースダウンライト 調光 1～100％ 調色 2,700K～6,500K 無線信号制御方式（制御用タブレット） スポット照明用ライティングダクト

展示室仕様

室 名	有効最大壁長 （固定＋可動）	天井高 （展示面）	ケース長 （有 効）	ケース面積 （有 効）	積載荷重	床 材
展示室A	195.3m	4.7m	9.8m	11.0㎡	360kg/㎡	フローリング
展示室B	116.1m	4.5m	9.8m	11.0㎡	360kg/㎡	フローリング
アートギャラリー	27.6m	3.4m	－	－	360kg/㎡	フローリング

■ 備品概要

展示ケース	施 工 型	エアタイト方式 高透過ガラス（t=12） 内開きフラット扉 調湿ボックス（循環ファン）付 LED照明（調光調色：0～100％ / 2,700～5,000K） LEDスポットライト照明（調光：0～100％ / 3,000K）
	置 型	エアタイト方式 900W x 900D x 2,100H 12台（内、免震ケース4台） 900W x 900D x 2,100H 3台（内、免震ケース1台） 1,800W x 900D x 2,100H 3台 1,800W x 750D x 900H 3台 2,600W x 1,200D x 2,700H 3台 ノンエアタイト方式 1,500W x 600D x 950H 6台
展示パネル	ハンガーレール パネル走行方式 固 定 方 式 パネル仕上げ 設置枚数	アルミ押出型材（アルマイト処理） 重量用水平2段スライド走行輪（ベアリング内蔵） 手動ストッパー 防虫ラワン合板（t=12）・クロス下地エマルジョンペイント ピクチャーレール（重量用：70kg）付 展示室A 3,600W x 4,700D 12枚 1,800W x 4,700D 4枚 展示室B 3,600W x 4,500D 8枚 1,800W x 4,500D 2枚
絵画ラック	梁台吊下げ式	3,060W x 4,500D 17台

